

# 流域下水道管の維持管理について

2026年6月4日

大阪府 都市整備部 下水道室 事業課  
高橋 孝輔

## ○流域下水道について

大阪府と市町村が役割を分担して下水道サービスを提供



●大阪府施行(赤字)

流域下水道

流域幹線管渠、ポンプ場、  
終末処理場等の建設・維持管理

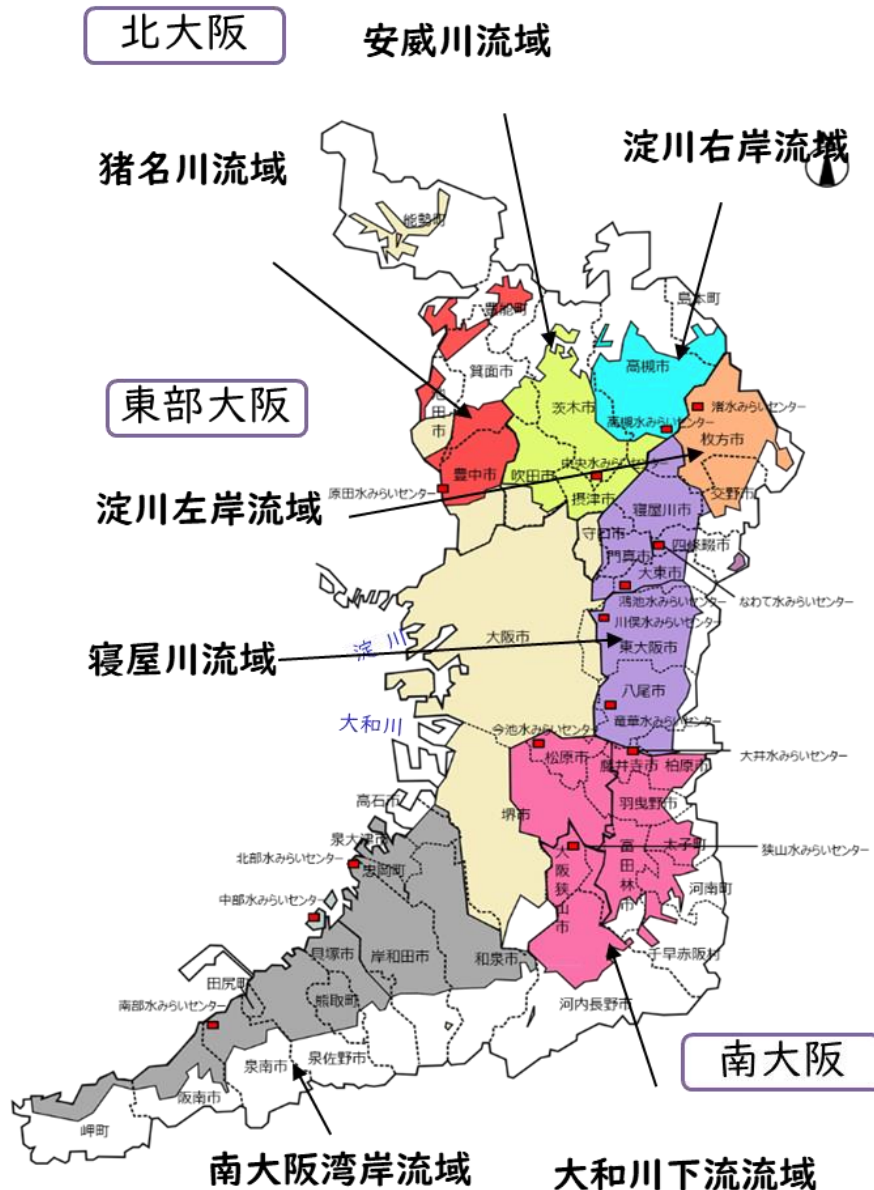
●市町村施行(青字)

流域関連公共下水道

枝線管渠、ポンプ場等の建設・維持管理

上記の他、府施行分の建設・維持管理費の負担

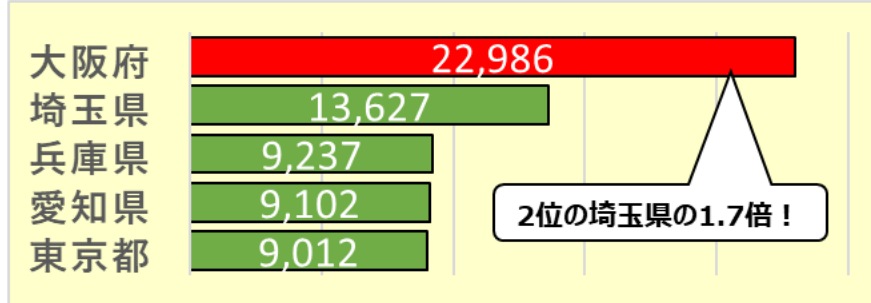
# 大阪府の流域下水道



**昨年(2025年)は  
60周年**

大阪府の流域下水道は、1965年に全国で最初に着手され、全国最大規模の事業を実施

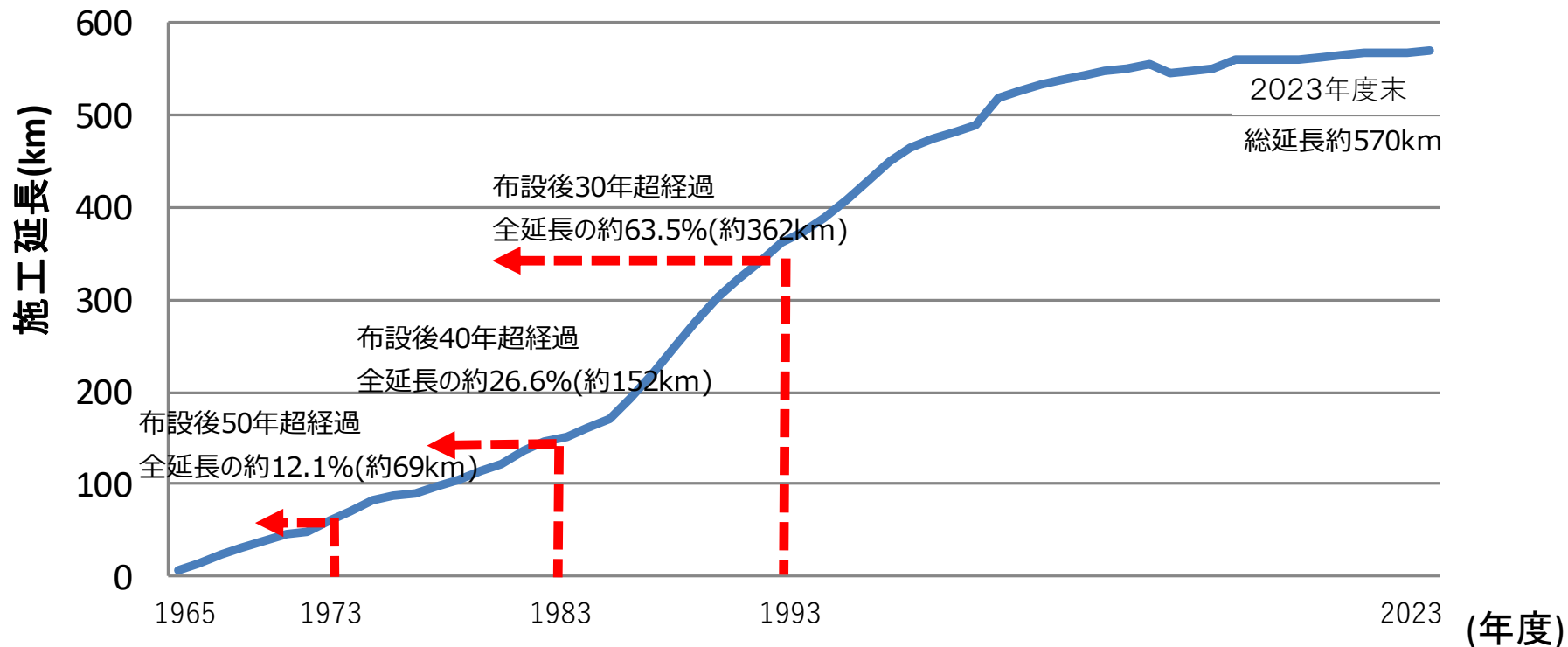
都道府県別の総投資額 (全国の流域下水道) 2020年度末



保有施設の規模 (全国の流域下水道)

区分	全国順位 1位		全国順位 2位	
	都道府県	規模	都道府県	規模
管渠延長	大阪府	568.2 km	埼玉県	452.3km
ポンプ場	大阪府	32 箇所	茨城県	26箇所
処理場	大阪府	14 箇所	愛知県	11箇所

## 大阪府流域下水道 延長



### 大阪府の状況

総延長 : 約 570 km  
 内 50年超 : 約 67 km (約12%)  
 ⇒ (10年後) 約152 km(約 27%)  
 ⇒ (20年後) 約362 km(約 64%)



### 全国の状況

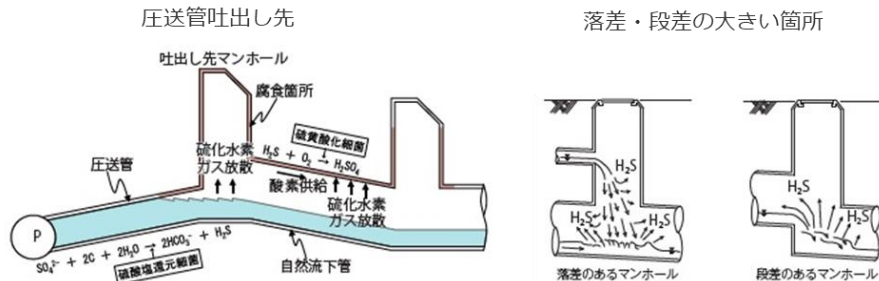
総延長 : 約 50 万km  
 内 50年超 : 約 4 万km (約7%)  
 ⇒ (10年後) 約10 万km(約 20%)  
 ⇒ (20年後) 約21 万km(約 42%)

# 流域下水道管きよの維持管理(大阪府の現状) ①

## 管きよの点検・調査

点検分類	体制	点検内容	頻度	施設数
簡易点検 (管渠パトロール)	直営 委託	職員(又は委託業者)が徒歩により目視点検を実施	1~2回/年	570km
臨時点検	直営 委託	簡易点検で異常があった場合に人孔内部の確認を実施	—	
詳細点検 (調査)	委託	管渠・人孔内部の状態を把握するための点検	1回/10年 1回/5年	
モニタリング (追跡調査)	委託	進行状況を把握する必要がある場合に実施	随時	
緊急点検	直営	地震後や台風後に徒歩、車両により目視点検を実施	随時	

【大阪府流域下水道の「腐食のおそれの大きい箇所」】

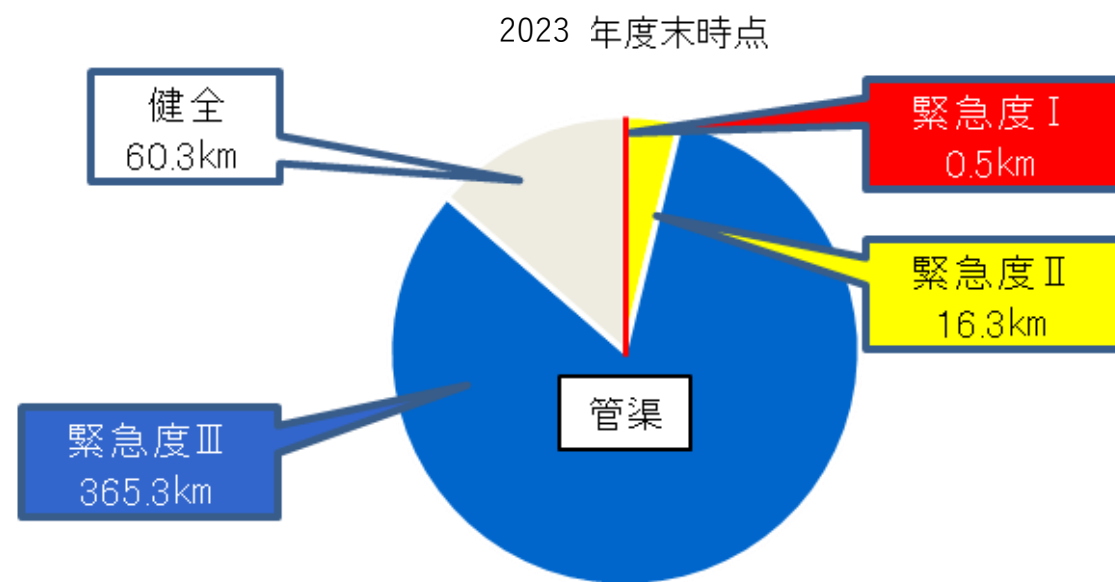


腐食するおそれの大きい箇所については5年に1回の頻度で重点的に点検調査を実施している。また、新たに腐食等が発見され、経過観察が必要となった場合には頻度を変更して調査している。

# 流域下水道管きよの維持管理(大阪府の現状) ②

## ■これまでの管きよの点検・調査結果

【管渠緊急度判定結果:調査済延長442.4km】



緊急度Ⅰ	重度	速やかに措置が必要
緊急度Ⅱ	中度	簡易な対応により措置を5年未満まで延長できる
緊急度Ⅲ	軽度	簡易な対応により措置を5年以上に延長できる

## ○埼玉県八潮市の道路陥没事故について

2025年1月28日に埼玉県八潮市において下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没が発生。トラック一台が巻き込まれるとともに、約120万人が下水道（洗濯や風呂）の使用自粛を要請されるなど、大きな影響が発生。

当該道路陥没は地下約10mに流域下水道幹線（管径4.75m、1983年整備）が埋設されており、下水道管の腐食等により土砂が下水道管内に流出したことが原因と考えられている。



## ○下水道管路施設に対する緊急点検

### 2025.1.29 国土交通省より緊急点検の要請

#### 【点検対象】

大規模な流域下水道処理場（日最大処理量300,000m<sup>3</sup>以上）に接続する口径2,000mm以上の下水道管路⇒大阪府では約70km

#### 【点検方法】

「下水道維持管理指針」に基づく目視等による緊急点検

#### 【報告期限】

2025年2月7日



#### 【点検結果】

2025年2月5日点検完了⇒異状は発見されず

## ○全国特別重点調査について

### 2025.3.18 国土交通省より全国特別重点調査の要請

#### 【調査対象】

口径2,000mm以上かつ1994年以前に設置・改築された下水道管路

⇒大阪府では約135km（通常調査の2～3年分に相当）

#### 【調査方法】

目視もしくはテレビカメラを用いた管内調査＋打音・空洞調査（新規調査項目）

#### 【報告期限】

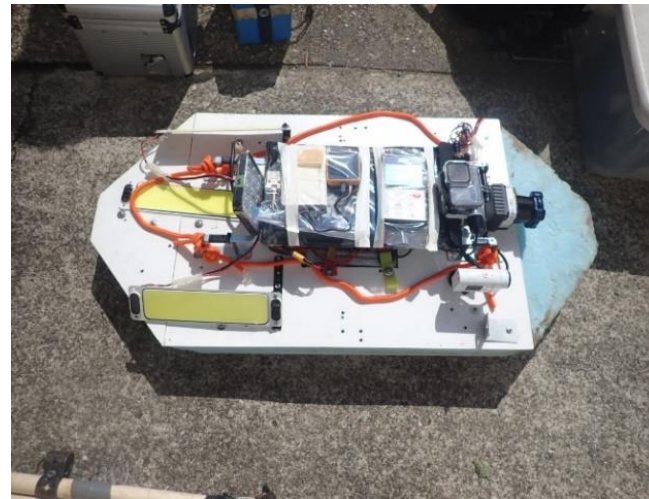
2026年2月27日、八潮市と類似構造や腐食しやすい等の優先実施箇所は2025年8月8日

⇒大阪府では優先実施個所が約100km

- ・水位の高い区間を短時間で調査  
⇒新技術（展開広角カメラ）の活用

- ・空洞調査など、新たな調査の実施  
⇒管きょ内からの調査技術の活用

- ・限られた期間内に多くの調査を実施することが必要
- ・新たな調査項目への対応



○全国特別重点調査の結果について

主な公表内容		調査結果	
		大阪府	全国 <今回追記>
①調査対象（延長）		135.2km	5,332km
②①のうち「腐食」や「破損」などの劣化を確認した延長	緊急度Ⅰ※	マンホール間延長※6.7km (要対策延長※3.8km)	マンホール間延長※548km (要対策延長※201km)
	緊急度Ⅱ※	マンホール間延長※84.2km (要対策延長※37.4km)	マンホール間延長※1,663km (要対策延長※547km)

調査の結果、直ちに道路陥没事故に繋がるような腐食や破損等は確認されなかった。